

## 「ちょっと変だな？」と感じたら地域包括支援センターへ連絡を

- 新聞や郵便物がたまっている
- 昼間でも雨戸が閉まっている、夜になっても明かりがつかない
- 目的もなく歩き回っている
- 天候が悪いのに長時間外にいる
- 夏なのに冬の服を着込んでいる
- 怒鳴り声や泣き声、大きな物音などがする
- 不審な業者などが出入りしている
- しばらく姿をみかけない
- 家や庭の様子が荒れている



## 清須市地域包括支援センター (清洲総合福祉センター内 清須市一場古城604番地15)

### ■地域包括支援センターとは？

- ▶ 高齢者の方が住みなれた環境の中で暮らし続けるための総合相談窓口です。
- ▶ 主任介護支援専門員（主任ケアマネジャー）、社会福祉士、保健師（経験のある看護師）などが中心となって、高齢者の支援を行います。
- ▶ 相談内容に関する秘密は堅く守ります。
- ▶ 相談は無料です。

#### 介護や健康のこと

- ・介護予防プランをお願いしたい
- ・要介護認定の申請を頼みたい
- ・身体の機能に不安がある
- ・今の健康を維持したい など

#### 権利を守ること

- ・悪質な訪問販売の被害にあった
- ・財産管理に自信がなくなった
- ・虐待かもしれない
- ・つい大声や手が出てしまう など

#### さまざまな相談ごと

- ・近所の一人暮らし高齢者が心配
- ・近所の認知症と思われる方が心配
- ・トイレに手すりを付けたり、高齢者が使いやすいお風呂のいすが欲しい。
- ・もうすぐ退院だが、家に帰ってからの生活が心配 など

#### 暮らしやすい地域のために

高齢者が暮らしやすい地域づくりのために、医療機関や行政、その他の関連機関との連携体制を進めます。  
また、地域のケアマネジャーが円滑に仕事ができるよう支援を行います。

# 認知症安心ガイド

## — 認知症ケアパス —



認知症とは？  
認知症の症状・予防 1・2P

早期発見・治療 3・4P

認知症ケアパス 5・6P

認知症の方  
への対応 7P

家族の気持ちを理解する  
介護予防川柳 8P

認知症支援 9・10P

清須市地域  
包括支援センター 11P

認知症は、脳の病気が原因で起こり、誰もがなる可能性があります。85歳以上の人の4人に1人は、認知症の症状があるともいわれています。認知症についての理解を深め、認知症の方とその家族を温かく見守り、お互いに助け合い『認知症になっても笑顔で安心して暮らし続けることができる地域』にしましょう。

H23 初版発行 / H27 改訂 (引用・参考：認知症サポーター養成講座標準教材)

お問合せ

●清須市役所 (清洲庁舎)  
高齢福祉課介護予防係

☎400-2911 (代表)

●地域包括支援センター

☎409-9010

清 須 市

# 認知症とは？

## ●認知症ってなに？

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったためにさまざまな障害が起こり、生活するうえで支障が出ている状態（およそ6ヶ月以上継続）をいいます。

## ●認知症の原因疾患

認知症の原因となる病気には多くのものがあります。主なものは以下の4つです。

### ■アルツハイマー型認知症

認知症をきたす病気の中で一番多い病気です。脳の神経細胞が少しずつ減少し、脳が萎縮し発症します。比較的早い段階から記憶障害、見当識障害のほか、不安・うつ・妄想が出やすくなります。

### ■脳血管性認知症

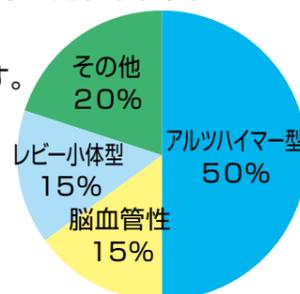
脳梗塞・脳出血・脳動脈硬化など、脳の血管が詰まったり破れたりすることで、その部分の脳の働きが悪くなり、意欲が低下したり、複雑な作業ができなくなったりします。

### ■レビー小体型認知症

パーキンソン症状や幻視を伴い、症状の変動が大きいのが特徴です。

### ■前頭側頭型認知症（ピック病など）

前頭前野を中心に傷害されるため、我慢したり思いやりなどの社会性を失い、「我が道を行く」行動をとる特徴があります。



## ●認知症の症状

### ■もの忘れ（記憶障害）

脳は、目や耳などから入るたくさんの情報のうち、必要なものや関心があるものは一時的に蓄え、大事な情報は忘れないように長期間保存するようにできています。しかし、脳の一部の細胞が壊れ、そのはたらきを失うと、覚えられない、すぐ忘れるといった記憶障害が起こります。



お昼ご飯はまだ？

### 対応アドバイス

食事をしたにもかかわらず「食べていない」と訴えられたとき、「さっき食べたでしょ！」と言ってもかえって家族に不信感を持ってしまいます。「もうできるから待ってね」「手伝って」などと言って「食べていない」という気持ちをそらして、忘れてもらうのもひとつの手段です。

## 加齢による物忘れと認知症の記憶障害との違い

加齢による物忘れ	認知症の記憶障害
経験したことが部分的に思い出せない	経験したこと全体を忘れていく
目の前の人の名前が思い出せない	目の前の人や誰なのか分からない
物の置き場所を思い出せないことがある	置き忘れ・紛失が頻繁にある
何を食べたか思い出せない	食べたことじたいを忘れていく
約束をすっかり忘れてしまった	約束したことじたいを忘れていく
物覚えが悪くなったように感じる	数分前の記憶が残らない
曜日や日付を間違えることがある	月や季節を間違える



今日は何日だったかな？

### 対応アドバイス

「今日は何日？」という言葉のうらには、今日が何日かを知りたいだけでなく、今がいつなのか不安だという気持ちが隠れていることもあります。冷たい口調で答えるのではなく、カレンダーと一緒に見てあげるなど気持ちに寄りそっててください。

### ■見当識障害

見当識とは、現在の年月や時刻、自分がどこにいるかなど、基本的な状況を把握することです。記憶障害と並んで早くから現れます。時間や季節感の感覚が薄れることから現れ、場所や周囲の人との関係が分からなくなります。

### ■理解・判断力の障害

ものごとを考えたり、判断にも支障が出てきます。考えるスピードが遅くなり、二つ以上のことが重なるとうまく処理できなくなります。いつもと違うできごとで混乱しやすくなります。

### ■その他…

■妄想 ■意欲低下 ■うつ ■徘徊 ■失禁 ■幻覚 ■人格変化  
など、様々な症状があります。

【金銭管理や買い物、書類の作成、車の運転など、日常生活に支障が出ます。】

## 若年性認知症

若年性認知症とは、65歳未満で発症した認知症です。若年性認知症の人は、働き盛りで就学期の子どもがいる場合も多くあります。そのため、仕事を辞めなければならないと、経済的困難に陥ってしまいます。また、高齢の人の場合に比べ、周囲の人、そして家族も病気を理解し受け入れるのに往々にして時間がかかります。

現役途中で認知症になった人への地域での理解が求められています。

患者数 全国で約 37,800 人

人口 10 万人あたり 約 48 人

(厚生労働省調査 (H18 年度から3年間) による)

## ●認知症の予防についての考えかた

### ■認知症の予防とは？ ⇒ 認知症発症のリスクを少なくすることです

脳血管性認知症の予防 …… 高血圧症、高脂血症、肥満などの対策が有効です。  
アルツハイマー病の予防 …… 運動・食事などの生活習慣病対策には、発症を遅らせる効果があります。  
老化による脳の病気の加速因子を防ぐ …… 脳や身体を使わないこと「廃用」は認知症の発症や進行を加速させます。

### ■脳の活性化を図る

- ① 快刺激で笑顔に …… 心地よい刺激や笑うことで、意欲をもたらす脳内物質（ドパミン）がたくさん放出されます。
- ② コミュニケーションで安心 …… 社会との接触が失われると、認知機能の低下を促進させます。友人や家族などと楽しく過ごすことが大切です。
- ③ 役割・日課をもとう …… 人の役に立つことを日課に取り入れると、生活が充実し、認知機能を高めます。
- ④ ほめる、ほめられる …… ほめても、ほめられてもドパミンがたくさん放出されます。脳を活性化させる学習や活動をするときは、ほめて、やる気が起きるようにすることです。

※認知症の予防のために「何をしたらよいか」ではなく、「どう刺激ある日常を送るか」が重要です。

# 早期発見・早期治療が大切です

認知症かな？と思ったら、年齢のせいと考えて放置するのではなく、出来るだけ早い時期に、医療機関などに相談しましょう。

## ●早期発見が大切な理由

### ■治る認知症もある

認知症のような症状がでて、治る病気や一時的な症状の場合もあります。例えば正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫などは脳外科的処置でよくなる場合があります。甲状腺ホルモン異常なども内科的治療でよくなります。

### ■症状の進行を遅らせることができる

認知症の原因がアルツハイマー型認知症の場合は、薬によって認知症の進行を遅らせることができます。認知症の原因となる疾患を的確に診断することにより、適切な薬を選択することが可能となります。

### ■本人や家族に余裕が生まれる

認知症の原因を早く見つけることによって、たとえそれが現段階では治らない認知症であっても、本人やご家族・介護者の生活の質を高め、介護の負担を減らすことができます。障害の軽いうちに障害が重くなったときの後見人を決めておく等の準備をしておけば認知症であっても自分が願う生き方を全うすることは可能です。

## 認知症チェック表

「なにかおかしいな？」と感じたら、以下の項目をチェックしてみましょう。一年前の状態と現在の状態を比べてみるのも良いでしょう。○をつけてみましょう。

1	同じことを言ったり聞いたりする。	
2	物の名前が出てこなくなった。	
3	置き忘れやしまい忘れが目立ってきた。	
4	以前はあった関心や興味が失われた。	
5	だらしなくなった。	
6	日課をしなくなった。	
7	時間や場所の感覚が不確かになった。	
8	慣れた所で道に迷った。	
9	財布などを盗まれたという。	
10	ささいなことで怒りっぽくなった。	
11	蛇口、ガス栓の締め忘れ、火の用心ができなくなった。	
12	複雑なテレビドラマが理解できない。	
13	夜中に急に起きだして騒いだ。	

(国立長寿医療センターで使われているチェックリストより)

合計  つ

### ●3項目以上に心当たりがある → 専門医に相談を (P4へ)

※このチェック表はあくまでも目安です。認知症の診断をするものではありません。

## ●病院リスト

### 受診するときのポイント

どのような変化にいつ頃気づいたのか、気になる症状を書き出し、医師に伝えてください。

## 医療機関

### ■認知症疾患医療センター

病 院 名	住 所	相談窓口電話
国立長寿医療研究センター	大府市森岡町七丁目 430	0562 - 87 - 0827
八千代病院	安城市住吉町二丁目 2-7	0566 - 33 - 5556
いまいせ心療センター	一宮市今伊勢町宮後字郷中茶原 30	0586 - 80 - 0647
豊橋こころのケアセンター	豊橋市三本木町字元三本木 20-1	0532 - 45 - 1372
七宝病院	あま市七宝町下田矢倉下 1432	052 - 443 - 7900
あさひが丘ホスピタル	春日井市神屋町字地福 1295-31	0568 - 88 - 0959
愛知医科大学病院	長久手市岩作雁又 1-1	0561 - 78 - 6247
まつかけシニアホスピタル	名古屋市市中川区打出二丁目 347	052 - 352 - 4165
守山荘病院	名古屋市守山区町北 11-50	052 - 795 - 3560
名鉄病院	名古屋市西区栄生二丁目 26-11	052 - 551 - 2802

### ■在宅療養後方支援病院

病 院 名	住 所	相談窓口電話
済衆館病院	北名古屋市鹿田西村前 111	0568 - 21 - 0811

※診察科は「もの忘れ外来」「こころのケア外来」「精神科」など様々で、紹介状や予約が必要となることもあります。あらかじめ電話をしてから、お出かけください。

## もの忘れ相談医 《清須市内》

(「かかりつけ医認知症対応力向上研修」を修了された医師のいる医療機関です。)

病 院 名	住 所	相談窓口電話
石原医院	西枇杷島町辰新田 71-1	052 - 501 - 5131
遠藤外科整形外科	西枇杷島町古城 2-4-5	052 - 502 - 8841
尾関医院	西枇杷島町橋詰 72-1	052 - 501 - 5121
きとう医院	寺野美鈴 75	052 - 400 - 7211
五条川リハビリテーション病院	春日新堀 33	052 - 401 - 7272
新川病院	土器野 267	052 - 400 - 2711
枇杷島古城こころクリニック	西枇杷島町泉 72	052 - 505 - 8818
水田医院	一場 1419	052 - 400 - 3059
三輪医院	須ヶ口 19	052 - 400 - 2057
ゆたかクリニック	春日新堀 52	052 - 408 - 0171

※もの忘れで受診される場合は、あらかじめ電話をしてから、お出かけください。

## ●相談窓口 お気軽にご相談ください

認知症に関するご相談は、清須市地域包括支援センターへ ☎052-409-9010

## ●道に迷うことがあるときは！

認知症の方の居場所がわからなくなった場合、すぐに警察に連絡してください。迅速な対応により、発見される可能性が高くなります。

## 西枇杷島警察署 ☎052-501-0110

### ①徘徊高齢者登録事業 (窓口 清須市役所 高齢福祉課)

徘徊する可能性がある方の顔写真と緊急連絡先などを、事前に西枇杷島警察署等に登録することにより、行方不明になった際、早期発見につなげるとともに、高齢者の方が住み慣れた地域で安心、安全に暮らすことを目的としています。

### ②徘徊高齢者捜索メール配信事業 (窓口 清須市役所 高齢福祉課)

徘徊による事故を未然に防止する目的で、行方不明になった高齢者を早期に発見するシステムを開始します。詳しくは清須市広報・ホームページをご覧ください。

認知症の進行（右に行くほど発症から経過し進行している状態）

認知症の進行	認知症の疑い	認知症を有するが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要
<p>本人の様子 (見られる症状や行動の例)</p> <p><small>【*注意* 認知症の原因となる疾患や身体状況などにより、経過は異なり、記載されている症状が必ずでるとはかぎりません。 今後を見通す参考にして下さい。】</small></p>	<p><input type="checkbox"/> 物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類の作成を含め、日常生活は自立</p>	<p><input type="checkbox"/> 買い物やお金の管理にミスが見られるが、日常生活はほぼ自立</p> <p><input type="checkbox"/> 新しいことがなかなか覚えられない</p> <p><input type="checkbox"/> 料理の準備や手順を考えるなど、状況判断が必要な行為が難しくなる</p>	<p><input type="checkbox"/> 服薬管理ができない</p> <p><input type="checkbox"/> 電話の応対や訪問者の対応などが1人では難しい</p> <p><input type="checkbox"/> たびたび道に迷う</p> <p><input type="checkbox"/> 買い物やお金の管理などこれまでできてきたことにミスが目立つ</p>	<p><input type="checkbox"/> 着替えや食事、トイレ等がうまくできない</p> <p><input type="checkbox"/> しまい忘れをきっかけに妄想が起きる(財布などを盗られたと言う)</p> <p><input type="checkbox"/> 自宅がわからなくなる</p> <p><input type="checkbox"/> 時間・日時・季節がわからなくなる</p>	<p><input type="checkbox"/> 言葉によるコミュニケーションが難しくなる</p> <p><input type="checkbox"/> 声かけや介護を拒む</p> <p><input type="checkbox"/> ほぼ寝たきりで意志の疎通が困難である</p> <p><input type="checkbox"/> 飲み込みが悪くなり食事に介助が必要</p>
<p>家族の気持ち (例)</p>	<p>年齢のせい。言えばできるはず。否定。</p> <p>混乱。他人の前ではしっかり、身近な人に症状が強くなる。自分だけがなぜ。拒絶。相手のペースに振り回され、疲れきってしまう。</p> <p>なるようにしかならない。身体介護が増。最後をどう看取るか。</p>				
<p>やっておきたい・決めておきたいこと</p> <p><small>【 本人・ご家族へのお願い 】</small></p>	<p><input type="checkbox"/> 認知症を予防するため、規則正しい生活を心がけたり、地域の交流の場などへのお出かけを増やしましょう。</p> <p><input type="checkbox"/> 認知症に関する正しい知識や理解を深めましょう。</p> <p><input type="checkbox"/> 今後の生活設計(介護、金銭管理など)について考えてみましょう。</p>	<p><input type="checkbox"/> 医療や介護について知りましょう 認知症を引き起こす病気により今後の経過や介護の方法が異なります。間違った対応は本人の症状を悪化させる原因となる危険性があります。周囲が適切に対応することにより、穏やかな経過をたどることも可能です。</p> <p><input type="checkbox"/> 失敗しないように手助けをしましょう 今まで出来たことが少しずつできなくなり失敗が増えてきます。「失敗をして自信を喪失した」「失敗をして怒られた」といった体験は認知症の症状を悪化させることもあるので、できるだけ失敗をさせない対応と、失敗の影響を最小限にするさげないフォローをしましょう。</p> <p><input type="checkbox"/> 介護保険サービスなどを利用しましょう 早めに介護保険サービスを利用して、がんばりすぎない介護をこころがけましょう。介護者があってこそその介護です。家族の方は自分のことや健康を大切にしましょう。介護者が休息する時間も必要です。また、認知症のことを隠さないで身近な人に伝え、理解者や協力者を作りましょう。同じ立場の人の集まり(家族会など)で、話を聞いたり自分の気持ちを話せる場を持つことも重要です。</p>			
<p>主なサービスの例</p>	<p>相談</p>	<p>地域包括支援センター</p> <p>高齢福祉課が開催しているもの忘れ相談</p> <p>介護支援専門員(ケアマネジャー)</p>			
	<p>介護予防・悪化予防</p>	<p>高齢福祉課が開催している介護予防教室、寿会、サロン、体操・認知症予防自主グループなど</p> <p>特技や趣味を生かして活躍できるシルバー人材センター、ボランティアなど</p> <p>通所介護(デイサービス)、訪問介護</p> <p>訪問介護</p>			
	<p>他者とのつながり支援、仕事、役割支援</p>	<p>高齢福祉課が開催している介護予防教室、寿会、サロン、福祉センターなど</p> <p>福祉カフェ(サロン)</p> <p>特技や趣味を生かして活躍できるシルバー人材センター、ボランティアなど</p> <p>通所介護(デイサービス)、訪問介護</p> <p>訪問介護</p>			
	<p>安否確認・見守り</p>	<p>高齢者等見守り活動、民生委員、認知症サポーター、救急医療情報キット配布事業(独居高齢者)、徘徊高齢者登録事業、徘徊高齢者検索メール配信事業など</p> <p>災害時要援護者登録事業(70歳以上の独居、高齢者世帯、要介護3~5の要介護高齢者など)</p> <p>緊急通報システム(独居の方)</p>			
	<p>生活支援</p>	<p>配食サービス、老人福祉車購入補助、老人無料入浴制度など</p> <p>ホームヘルプサービス、デイサービス</p> <p>通所介護(デイサービス)、訪問介護</p> <p>訪問介護</p> <p>非課税世帯の要介護3~5の寝たきり高齢者又は認知症高齢者へ家族介護用品購入(オムツ等)の助成等</p>			
	<p>身体介護</p>	<p>通所介護(デイサービス)、訪問介護、小規模多機能型居宅介護</p> <p>訪問入浴介護</p>			
	<p>医療</p>	<p>診療所(もの忘れ相談医)、認知症疾患医療センター、認知症地域ネットワーク連携シート、歯科診療所、薬局</p> <p>訪問看護</p>			
	<p>家族支援</p>	<p>地域包括支援センター総合相談、介護者のつどい・介護者リフレッシュ事業・介護講座(地域包括支援センター)</p> <p>福祉カフェ(サロン)</p>			
	<p>権利を守る</p>	<p>日常生活自立支援事業</p> <p>成年後見制度</p>			
	<p>住まい</p>	<p>自宅、ケアハウス、サービス付き高齢者専用住宅、有料老人ホーム、養護老人ホームなど</p> <p>グループホーム、介護老人保健施設、介護老人福祉施設など</p>			

# 認知症の方への対応

## ●認知症の方の気持ちに寄り添う

### ■認知症の方の世界を理解しようとする気持ちを持ってください。

認知症の方は、その方なりに自分の感じとった世界で懸命に生きています。ただ、脳の障害によって、健康な方とは表現の仕方、行動の仕方にズレが生じているにすぎないのです。

認知症の方は、何もわからないのではなく、誰よりも一番心配なもの、苦しいもの、悲しいのも本人です。

### ■認知症の方のプライドを尊重してください。

認知症の方のそれぞれの誇りを尊重して、周囲の方たちが手を差し伸べられるようにしたいものです。

### ■認知症の方には、豊かな感情があるのだということを十分理解して、日常生活の支援をしてください。

## ●認知症の方への対応の心得

3つの「ない」

1. 驚かせない
2. 急がせない
3. 自尊心を傷つけない

「だめ」と言わないで！  
頭ごなしに否定すると症状がもっと悪くなる経験をしてきました。

介護者の声

### —— 家族の方へ（介護されるみなさまへ） ——

- 頑張りすぎず、周囲の方の協力を得てください。
- 一人で抱え込まないで、相談できる人を持ってください。
- 介護保険などの、いろいろなサービスを上手に利用してください。

### —— 周囲のみなさまへ ——

本人や家族の立場に思いをはせましょう。「大変ですね、お互いさまですね」「なにかお手伝いすることがありますか」などの声をかけ合ってください。

## ●認知症の方の応援者になろう！

認知症サポーターとは、特別なことをするわけではありません。

次の3つのことをお願いします。

- ① 認知症について正しく知ること
- ② 認知症の方を温かく見守ること
- ③ 自分のできる範囲で支援すること



### ■認知症サポーター養成講座

認知症についての知識を深め、認知症の方と家族を温かく見守ってくださる認知症サポーターを養成する認知症勉強会です。認知症キャラバン・メイトが講師となり講座を開催しています。10人以上の参加であれば、出前講座もいたします。受講された方には、認知症サポーターの証であるオレンジリングをお渡しします。

認知症サポーター養成講座に関する事務局は、清須市役所高齢福祉課介護予防係（400-2911）です。

# 認知症介護をしている家族の気持ちを理解する

認知症介護をしている家族などの気持ちを理解し、どんな応援をすればいいのか考えてみることは、認知症の人を支える活動の一環としてとても大切です。

家族の誰かが認知症になったとき、誰しもショックを受け、とまどい、混乱に陥ります。まず第1、第2のステップを経験することになります。

第4ステップの受容にたどりつく間には、第1から第3までを行きつ戻りつを繰り返します。その時期を通り抜け、認知症の人の「あるがまま」を受け入れられるようになるためには、介護者の気持ちの余裕が必要です。

介護者の余裕は、認知症の人本人や家族に対する周囲からの理解や支援と介護サービスの適切な利用などによって得られると考えられます。



# 『介護予防』川柳 優秀作品

清須市では、介護予防・健康づくりの一環として、平成24年度から下記のテーマで川柳を公募し、多数のご応募をいただきました！

### 《過去の優秀作品》



平成24年度テーマ「介護予防」

平成25年度テーマ「地域の見守り」

平成26年度テーマ「認知症」

# 認知症支援

## ●地域密着型サービス

地域密着型サービスとは、市が指定をした事業所において、市民だけが利用できるサービスです。

### ■グループホーム（認知症対応型共同生活介護）

認知症の方が家庭的な環境と地域住民との交流の下、住み慣れた環境での生活を継続できるようにすることを旨とするものです。（要支援2以上の方が利用できます）

#### グループホーム須ヶ口



東須ヶ口 50 番地 052-401-3939  
<https://www.facebook.com/tamaiyasutake>

グループホーム須ヶ口では、利用者の皆さまが今まで過ごしてきた環境や趣味嗜好、生活パターンなどのライフスタイルを大切にすることをモットーとしており、今までと変わらない、安心して豊かな生活が送れるようサポートしております。

また、利用者の皆さまが「毎日を明るく健やか」に過ごすことができるように、お花見、クリスマス会、お正月の餅つき、レストランでの家族会など時季に合わせた行事を行っております。

#### グループホーム きよす



西田中本城 46 番地 052-400-3004  
<http://www.activelifekiyosu.com/>

「和ら居」「のんびりと」「いつも笑顔で」「ともに暮らす」この理念のもと、お互いがお互いを支え合いながら家庭的な雰囲気の中で生活しています。

『行ってきます！』『行ってらっしゃい』

『ただいま！』『おかえりなさい』

『やっと家に帰って来れた』

この言葉がグループホームきよすを「自分の家」「自分の居場所」と思っていただけだと実感しています。

#### グループホームペガサス春日



春日新町 105 番地 052-408-5550  
<http://care-net.biz/23/pegasasuharuhi/>

グループホームペガサス春日では、「思いやりの心」を理念としており、利用者の皆さまには職員と共に家庭的な雰囲気のもと、炊事・洗濯・お部屋の掃除などご自宅で暮らしていた時と変わらない生活を行っていただいております。また、気の合う仲間とおしゃべりや外出を楽しむなど、笑顔の絶えない日々を過ごしています。ホームでは、職員と一緒に近所のスーパーへお買い物、町内清掃に参加するなど地域に根差した活動も行っております。

利用料、詳細なサービス内容については、各事業所へお尋ねください。また、市地域包括支援センターにて相談も行っています。

## ■小規模多機能型居宅介護

住み慣れた家・地域での生活を継続することを実現できるよう目指したサービスです。利用者の状態や必要に応じて、「通い」を中心に「泊まり」「訪問」を1つの施設で利用できます。

#### 遊楽苑 西枇杷島



西枇杷島町弁天9番地 052-325-6501  
<http://www.fukushinosato.co.jp/>

平成26年4月に清須市の指定を受け西枇杷島にオープンしました。

『行って楽しい（通い）、来て嬉しい（訪問）、泊まって安心（泊まり）』『ただいま』と言える 遊楽苑 西枇杷島』を基本理念とし、3つのサービスをいつもの顔なじみのスタッフで対応させていただきます。

## ●『福祉カフェ』をご利用ください

お茶を飲みながら、施設職員・介護支援専門員（ケアマネジャー）などとお話ししながら認知症に関することや在宅介護の悩みなど、お気軽に相談ください。

地域の皆さまの憩いの場としてもご利用ください。

#### ペガサス春日 福祉カフェ「なごみ」



春日新町 105 番地 052-408-5550  
<http://care-net.biz/23/pegasasuharuhi/>  
毎週土曜日 10時～12時

福祉カフェ「なごみ」では、毎週土曜日の午前中に、施設内の喫茶コーナーなどの地域交流スペースをご家族や地域の方々へ開放して、介護のプロである施設職員（介護福祉士、ケアマネジャー、生活相談員など）が、家族介護をしておられる方々の悩みをお聞きして、解決への手がかりを一緒に見出したり、介護技術をお伝えしたりするとともに、高齢者向けの健康体操などを行っております。

#### 清洲の里 福祉サロン「かぼちゃカフェ」



廻間堂畑1番地 052-401-7007  
<http://care-net.biz/23/kiyosunosato>  
毎月第1・第3火曜日 10時～12時

平成27年6月より、福祉サロン「かぼちゃカフェ」をオープンしました。毎月第1、3火曜日の午前中に、施設内の喫茶スペースを開放します。施設見学や介護相談、ちょっとした休憩にお立ち寄りください。地域の高齢者、介護者、住民の方が気軽にコーヒーを飲み、情報交換や介護に関する情報提供、高齢者の食べる機能の相談など、施設から地域の方たちに有意義な関わりができたかと考えています。

上記の福祉カフェ（サロン）では、清須市高齢福祉課や地域包括支援センターと協働し、地域福祉の促進に貢献できるイベントを開催します。こうした様々な活動を通して、地域福祉の拠点を担えるよう取り組んでまいります。